

水稲用除草剤

サスケ[®] 粒剤200

10アールに200グラム散布

水口施用も
可能になりました。

軽量+少量拡散性の粒剤なので
バッテリー長持ち!
ドローン散布に最適!!



DRONE



®=BASF社の登録商標



OAT アグリオ株式会社

サスケ[®] 粒剤200

登録番号：第24079号

有効成分：カフェンストロール………10.5%
シクロスルファミロン………2.25%
ダイムロン………22.5%
ベンゾビシクロン………10.0%

毒性：普通物（毒効物に該当しないものを指すという通称）
規格：1kg×6袋／ケース



特長

- 1 10a当り200gの少量拡散型粒剤
- 2 ドローン散布に適した水稲用除草剤
- 3 優れた拡散性により10～20m間隔での散布が可能
- 4 高い土壌吸着で効果安定
- 5 SU抵抗性雑草にも有効
- 6 水口施用・湛水散布も可能

■適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量 (10a当り)	本剤の 使用 回数	使用方法	カフェンストロール を含む農薬の 総使用回数	シクロスルファミロン を含む農薬の 総使用回数	ダイムロン を含む農薬の 総使用回数	ベンゾビシクロン を含む農薬の 総使用回数
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、 ウリカワ、ミズガヤツリ、 ヘラオモダカ、クログワイ、 オモダカ、ヒルムシロ、セリ、 アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後3日～ ノビエ2葉期 ただし、 移植後30日まで	200g	1回	水口施用、 湛水散布 又は 無人航空機 による散布	1回	2回以内	3回以内 (育苗箱散布 は1回以内、 本田では 2回以内)	3回以内
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、 ウリカワ、ミズガヤツリ、 ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ ノビエ2葉期 ただし、 収穫60日前まで			湛水散布 又は 無人航空機 による散布			2回以内	

■上手な使い方

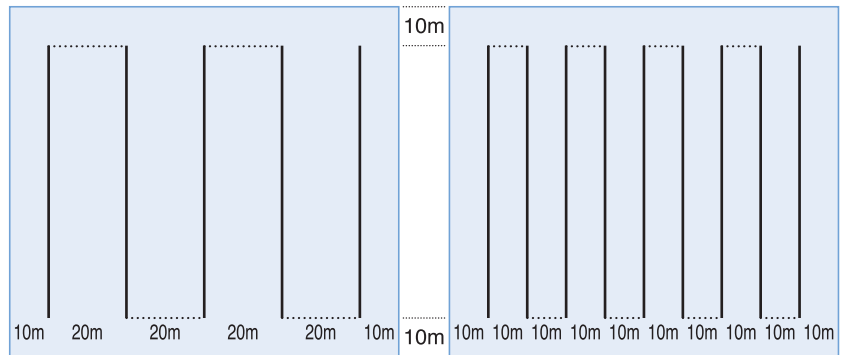
ドローンによる散布

10a当り200gの割合で、畦から10m空けて10～20m間隔で散布してください。多少のまきむらは粒剤の拡散性能でカバーされるので安心です。



【100a水田の場合】

- あらかじめ、飛行速度に合わせ粒剤の吐出量を調整します。若干少なめにすると途中で粒剤がなくなるのが防げます。
- 2kg分のサスケ粒剤200をドローンのタンクに入れ、右の図のようなルートで散布します。
- 残った粒剤を撒ききって完了です。



20m間隔での散布

10m間隔での散布

△使用上の注意事項



- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2葉期までに時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれがけるので、必ず適期に散布してください。各雑草の散布適期は以下のとおりです。
 - ・ホタルイ………2葉期まで
 - ・ヘラオモダカ………発生時まで
 - ・ウリカワ………2葉期まで
 - ・ミズガヤツリ………2葉期まで
 - ・ヒルムシロ………発生期まで
 - ・セリ………再生前から再生時まで
 - ・イボクサ………再生前から再生時まで
 - ・クログワイ、オモダカ、アオミドロ・藻類による表層はく離………発生前まで
- 苗の植付けが均一となるよう、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。ワラくすなどの浮遊物はできるだけ取り除き、未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行ってください。
- オモダカ、クログワイの防除に当たっては、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。
- 湛水散布又は無人航空機による散布の場合は、水の出入りを止めて水深5～6cmの湛水状態で投下してください。
- 水口施用の場合は、あらかじめ1～2cm程度水深を確保した状態で、入水時に本剤を水口に施用してください。本剤は水口から数メートルの場所に留まる可能性があります。流入水とともに有効成分は水田全面に拡散します。施用後田面水が通常の湛水状態（湛水深3～5cm）に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。
- 本剤使用後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm）を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないよう注意し、また、使用後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

- 藻類や表層はく離等の多発している水田では、拡散が不十分となり効果が劣る可能性があるため使用をさしてください。
- 散布直後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさしてください。
- 以下のような条件では薬害が発生するおそれがあるので、使用をさしてください。
 - ① 砂質土壌の水田および漏水田（減水深2cm/日以上）
 - ② 軟弱な苗を移植した水田
 - ③ 極端な浅植の水田および浮き苗の多い水田
- 散布後数日間暑い高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は、認められません。
- 直播水稲に使用する場合、適切な覆土を行い、稲の1葉期以降に散布してください。稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - ① 散布は散布機種ごとの散布基準に従って実施してください。
 - ② 散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③ 粒剤散布装置については、事前に薬剤の物理性に合わせてメタリング開度を調整するとともに、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラ（スピナ）の回転数を低速に調整してください。
 - ④ 散布薬剤の飛散によって他の作物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、ほ場の端から5m以上離れた位置からは場内に散布してください。
 - ⑤ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- 本剤はその殺草特性から いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。

- いぐさ栽培予定水田では、使用しないでください。
- 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、異常気象時は、病虫害防除等関係機関の指導を受けてください。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意してください。
- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に十分注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

貯蔵上の注意事項

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した子供の手の届かない場所に密封して保管してください。
- 吸湿性があるので湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空袋は農場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。

このチラシの記載内容は2019年11月現在のものです。



OAT アグリオ株式会社

https://www.oat-agrio.co.jp/
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1

コールセンター：☎0120-210-928（9:00～12:00・13:00～17:00）
土・日・祝日休線